

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

桜 区

【特性】▶桜区は西側を荒川が流れ、さくら草公園や秋ヶ瀬公園、荒川総合運動公園などが自然豊かなグリーンベルトを形成するなど、都市化の進んだ本市の中では田園的な面影を残した地域です。東部や南部には住宅を中心とする市街地が形成されており、国道17号新大宮バイパスに沿っては流通業務施設や工場が立地しています。また、区の中央部に位置する埼玉大学は文理5学部を有し、約1万人の教職員・学生が様々な活動を行っています。

都市基盤・環境

区内の幹線道路としては、東西方向に埼大通り(国道463号)があり、南北方向には新大宮バイパスが走っています。また、鉄道駅としては区の南端部にはJR武蔵野線西浦和駅があるほか、区境に近接してJR埼京線南与野駅、中浦和駅があります。

しかし、道路交通には、広域幹線道路である新大宮バイパスとの交差点における渋滞の発生などの問題が見られ、高齢社会の進展や環境問題などにも対応しながら、整備を進める必要があります。また、商業の活性化や医療・福祉の充実など、日常生活面での生活利便性の向上が求められます。

この中で、道場地区には記念総合体育館に隣接して区役所、図書館、ホール等を有するプラザウエストが整備され、生涯学習をはじめとする様々な市民活動や行政サービスの拠点となることが期待されます。

西浦和駅周辺についても、駅前広場をはじめとする駅周辺の整備とあわせ、生活に密着した商業やその他のサービス機能の集積など、機能性の向上が求められています。

地域資源

荒川河川敷には、国指定特別天然記念物の田島ヶ原サクラソウ自生地、ハンノキ林などの樹林地など良好な自然環境があり、さらに水田や畑などの豊かな田園環境も残されています。また、大久保古墳群や神社仏閣、田島の獅子舞や宿・神田の祭ばやしなどの歴史的・文化的な資源も豊富です。今後、ゆとりや潤いある生活を送るためには、このような地域の資源を積極的に活用していくことが必要です。

この他、埼玉大学の英知や若い学生パワーも地域の資源として、連携しながら特徴あるまちづくりに取り組んでいくことも大切です。



田島ヶ原サクラソウ自生地

コミュニティ

区内には、長く住み続けている住民が多くいる一方で、近年、宅地開発などに伴って新たに転入してきた住民も増え、住民同士の連携もやや希薄になっています。

このため、コミュニティ活動の拠点づくりを進めながら、従来のコミュニティ活動の活性化や高齢者の社会参加を促し、ボランティアやNPO*などとの連携を図りつつ、住民のコミュニケーションの輪を広げ、人と人のつながりを大切にしながらコミュニティづくりを進めていくことが求められます。



西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

桜区の将来像

三世代がつくる元気印のまち

— 自然あふれる住みよい環境 —

桜区には、さくら草公園から続くグリーンベルトをはじめ、数多くの歴史的・文化的資源が残されています。今後、これらの地域資源、特に、地域の自然をまちづくりに活用するとともに、住環境の整備を進め、子どもから高齢者までのすべての区民が生き生きと活動できるまちを目指します。

まちづくりのポイント

1 「自然」と「便利さ」の調和したまちづくり

- 自然と調和し、住環境の整った、やすらぎのある住みよいまちづくり
- 地域の産業を生かした、ふれあいや賑わいを生むまちづくり
- 車だけに頼らない移動手段の確保と、車いす・人・自転車にも配慮した、安心して通れる道路の整備
- 自然資源や歴史的・文化的資源など、地域の財産を生かしたまちづくり
- ごみに対する市民意識を変え、それを行動に波及させることによる、ごみの減量化・リサイクルの推進

2 子どもや高齢者などにやさしいまちづくり

- しっかりと子育てのできる、安全なまちづくり
- 子どもたちと地域の人々が関わりを深めながら、たくましく育つまちづくり
- 障害者にやさしく、高齢者が元気に活躍できるまちづくり

3 人と情報のネットワークによる住民活動の盛んなまちづくり

- 住民がコミュニケーションを深めながら、互いに連携し、だれもが参加して活動を継続できるコミュニティづくり
- 自治会活動やボランティア活動など、地域住民の活動が盛んなまちづくり
- だれもが身近に、自由に利用できる住民活動の拠点づくり
- 埼玉大学の英知や若さと連携したまちづくり



埼玉大学



田島の獅子舞

4 みんなでつくるまち

- 「住民のやる気」を育む仕組みづくり
- 住民と行政が協働し、信頼関係を生み出すまちづくり

■ 人口の見通し

項目	面積(a) (km ²)	人口(b)		人口密度(b/a)	
		平成17年 (人)	平成25年見通し (人)	平成17年 (人/km ²)	平成25年見通し (人/km ²)
桜区(A)	18.60	91,891	96,000	4,940	5,200
さいたま市(B)	217.49	1,185,777	1,268,000	5,452	5,800
市全体に占める割合(A/B)	8.6%	7.7%	7.6%	—	—

注1：面積は、国土地理院「平成16年 全国都道府県市区町村別面積調」による。

注2：平成17年の人口は、住民基本台帳及び外国人登録による10月1日現在の人口。平成25年見通しは概数。

注3：端数処理の関係上、区ごとの「市全体に占める割合」を合計すると100にならないことがあります。



鴨川堤桜通り公園

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区